

定例会議案一覧（令和元年6月）

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和元年度 勝山市一般会計補正予算（第1号）	予算	可決
議案第2号	令和元年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可決
議案第3号	令和元年度 勝山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	建設産業	可決
議案第4号	勝山市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第5号	勝山市水道水源保護条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第6号	勝山市道の駅「恐竜溪谷かつやま」の設置及び管理に関する条例の制定について	議客拠点整備に関する特別	可決
議案第7号	法恩寺山有料道路の料金の変更に同意することについて	建設産業	可決
議案第8号	勝山市道路線の変更について	建設産業	可決
議案第9号	勝山市公共下水道根幹的施設の改築工事委託に関する協定の締結について	建設産業	可決
議案第10号	災害対応特殊救急自動車の購入契約の締結について	総務文教厚生	可決
議案第11号	平成30年度 勝山市一般会計補正予算（第6号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予算	承認
議案第12号	平成30年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第4号）に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承認
議案第13号	勝山市税条例等の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承認
議案第14号	農山漁村振興交付金/周遊・滞在型観光推進事業補助金 勝山市道の駅「恐竜溪谷かつやま」新築工事（建築工事）請負契約の締結について	議客拠点整備に関する特別	可決
議案第15号	勝山市固定資産評価員の選任について	—	同意

請願・陳情

受理番号	要旨	付託委員会	議決結果
陳情第1号	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情	総務文教厚生	不採択
陳情第2号	生涯学習センター「友楽喜」の閉鎖に関する陳情書	総務文教厚生	採択

電子表決システムによる記名投票の表決結果 ※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

案 件	投票 総数	投票数		久保幸治	竹内和順	吉田清隆	下牧一郎	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	乾章俊	倉田源右エ門	北川晶子	山田安信	安居久繁	北山謙治	議決結果
		賛成	反対																
陳情第1号の不採択について	13	11	2	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	○	不	不採択

○＝賛成、×＝反対、不＝不在、議長＝議長職(通常は採決に加わらない)

平成30年度政務活動費各会派の収支状況

平成30年度の政務活動費について会派ごとに支出状況をお知らせします。

議員1人当たり月額30,000円、総額5,670,000円の政務活動費が交付されました。その内、423,801円が未使用額（残額）として市に返還されました。政務活動費は、4月と10月にそれぞれ半年分を交付しています。

平成30年4月～31年3月分

		市政会※1	立志会※2	創政会・公明	日本共産党	安居 久繁※1	倉田 源右エ門	乾 章俊
		6名	4名	2名	2名	1名	1名	1名
収入	政 務 活 動 費	2,100,000円	1,350,000円	720,000円	720,000円	60,000円	360,000円	360,000円
	預 金 利 息	1円	0円	0円	2円	0円	0円	0円
	合 計	2,100,001円	1,350,000円	720,000円	720,002円	60,000円	360,000円	360,000円
支出	調 査 研 究 費	1,098,076円	0円	0円	0円	0円	0円	102,160円
	研 修 費	0円	180,081円	59,910円	0円	0円	151,066円	125,392円
	広 報 費	298,324円	1,245,911円	0円	536,963円	0円	118,144円	124,416円
	広 聴 費	0円	0円	0円	2,000円	0円	0円	0円
	要 請 陳 情 活 動 費	188,143円	36,129円	36,129円	70,120円	0円	0円	0円
	会 議 費	0円	0円	17,536円	0円	0円	0円	0円
	資 料 作 成 費	68,876円	12,798円	30,631円	22,438円	0円	16,499円	1,980円
	資 料 購 入 費	372,020円	0円	272,941円	92,632円	19,954円	67,950円	6,052円
	人 件 費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	事 務 所 費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
合 計		2,025,439円	1,474,919円	417,147円	724,153円	19,954円	353,659円	360,000円
政務活動費充当上限額		2,025,439円	1,350,000円	417,147円	720,000円	19,954円	353,659円	360,000円
残 額（ 返 還 額 ）		74,561円	0円	302,853円	0円	40,046円	6,341円	0円
預 金 利 息 返 還 額		1円	0円	0円	2円	0円	0円	0円

●政務活動費の支出額が政務活動費交付額を上回る場合は、残額（返還額）を0円と表記しています。

●政務活動費取扱預金利息が0円の会派は、預金利息の発生しない決済用預金口座で管理しています。

●政務活動費取扱預金利息についても市に返還しています。

※1・市政会は、安居議員が平成31年2月で脱会したため、平成31年2月から平成31年3月分を5名分で交付し、安居議員には、平成31年2月1日付けで会派に所属しない議員として同期間の政務活動費を交付。

※2・立志会は、田中議員が平成30年12月31日で辞職したため、平成31年1月から3月分を3名分で交付。

○政務活動費とは

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項、15項及び16項の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会における会派（1人の場合も含む）に対して交付されています。

この車両は緊急消防援助隊という全国的な組織に登録する予定であり、大きな災害が発生した場合に出動要請があれば出動することになります。

生涯学習センター「友楽喜」の閉鎖に関する陳情書について

公共施設等総合管理計画に基づく、「生涯学習センター友楽喜」の今後の方向性については、昨年12月議会にて説明があり「利用者の皆様に丁寧に説明し納得して頂けるよう努力すべき」との意見が出されていました。2月に開催された生涯学習センター友楽喜運営審議会では、市が委員に説明した結果、「移転先周辺の駐車場の確保や備品等の更新を検討すべき」との意見が出されたとのことでした。

4月には市から「友楽喜」を利用している各団体の代表者に対し、今後の方向性や他施設での活動継続について説明されましたが、生涯学習の活動をされている方々から、「友楽喜」の廃止を一旦白紙に戻すこと、廃止を含め、議論を継続的に行った後に、「友楽喜」のあり方に関する結論を出すこととの陳情書が提出されました。市からは今後の方向性について慎重に検討を重ねるとの説明がありました。委員会では

2日間にわたり慎重審査を重ね陳情書を採用することとしました。

建設産業委員会

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案5件について全て可決しました。

勝山市水道水源保護条例の一部改正について

改正の目的は、地下水の安定した利活用に向け、市内の地下水利用の状況を把握し、水源保護地域内（勝山市全域）において基準を超える揚水施設（口径40ミリを超えるポンプ）により地下水を採取しようとする市民、事業所等に対し届出を義務付けるものです。今回、合わせて全ての市民、事業所等を対象に地下水利用に関するアンケート調査を実施します。

委員からは、アンケートの配布、回収方法等について十分検討するよう意見がありました。

法恩寺山有料道路の料金の變更について

令和元年10月1日より消費税率が8%から10%に引き上げられる見込みで

あることから、料金の変更を行うものです。ただし、消費税率が引き上げられない場合は、料金の変更は行わないとのこと。

普通車、軽車両等の変更はありませんが、積載量5トン以上の貨物車630円↓640円、大型バス等1470円↓1500円となります。

日本遺産の今後の取り組みについて

「400年の歴史の扉を開ける旅」石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井」をタイトルに、平泉寺と一乗谷を主要な構成資産とする日本遺産が5月20日に認定されました。今後は、福井県、福井市、勝山市が主体となり、関係団体を含め協議会を発足し進めていきます。

日本遺産魅力発信推進事業費（調査研究、普及啓発：国補助100%）が7月交付決定、観光拠点整備事業費（情報発信、公開整備：国補助60%）は8月に交付決定されるため、合わせて協議会で検討していきます。

委員からは、今後のさらなる勝山市観光の活性化に向けて県や福井市と十分に連携して事業を進めるよう意見が出されました。

特別委員会報告

誘客拠点整備に関する特別委員会

■今定例会の審査結果

道の駅に関する設管条例及び建築工事請負契約の2議案が付託され、審査の結果、全て可決しました。

委員会では、議案の他にジオタミナルの状況や道の駅の指定管理者制度導入に関する考え方等について説明を受けました。

ジオタミナルへは、46万4千人あまりの方が入館され、8千件以上の観光案内等を行ったこと、建物周辺の安全性の向上や案内看板整備の必要性など、設備に関して改善が必要な部分についても報告がありました。

委員会では、改善が必要な箇所について早急に対応することや、来場者の安全には十分に配慮するよう求めました。道の駅については、指定管理者制度導入に関する考え方や地域振興施設での農産物等の販売に向けてのスケジュールを確認し、来年度のオープンに向けて施設整備とともに、道の駅の経営に関する研究などをさらに進めるように求めました。